

HikifuneReport

光部品へのめっき

今回のご案内は、「**ガラスファイバーへのめっき**」です。125 μ mというとても細い石英ガラスへめっきを施し増幅器などへの接続を目的とします。最近一般的に知られてきた「**光ファイバー通信**」への欠かすことのできない特殊なめっき技術です。

< ガラスファイバーの需要増 >

以前は企業のみであったパソコンが約10年前から一般家庭へ普及しそれに伴いインターネットの使用が増えてきました。また、情報内容が進化するにつれ画像などの大容量の情報が飛び交う様になり、以前の通信ケーブルでは大容量の情報を送るのに時間がかかってしまっていました。

そこで注目されたのが**ガラスファイバー**を使った**光ファイバー通信**です。

ガラスファイバーを使用した光通信が世界中に広まることで地球の裏側の情報がスピーディーに入手出来るようになり、それに向け欧米・日本が中心となって世界へ普及させています。新しい技術の開発により世界中の景気上昇を促す効果も期待されています。

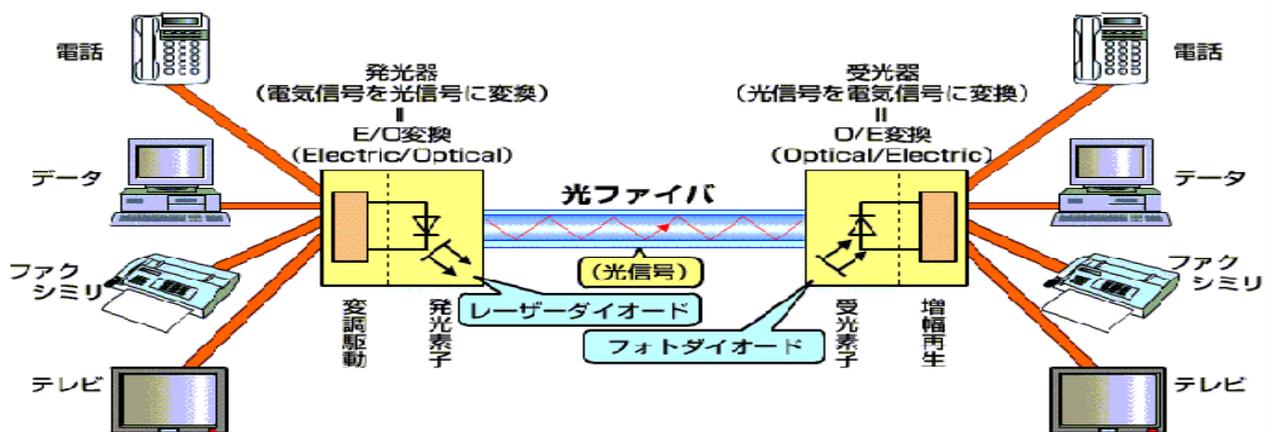
【当社では】

以前、石英ファイバーには真空中でITO膜（酸化インジウム・スズ）を施しその上に電気めっきをしていました。この方法だと真空容器の中でITO膜をつける作業となるため複雑な形状や微細なものには不向きでコストも比較的に高いものでした。現在では**下地めっき**処理に**無電解Ni**を施し、**仕上げめっき**に**電解Ni**や**無電解Au**、**電解Au**など用途によって仕上げめっきを選択することも可能で、しかも特定の部分のみめっきすることができます。めっき皮膜を付けることによってロウ付けが可能になり、しかもファイバーの強度が高まります。

当社は微細な部分めっきの精度を維持しながら生産性を高めることに成功しました。またコスト的にも以前と比べ対応力がつきました。

また、ファイバーと接続する変調器や増幅器、フェルルールに対するめっきもKover（コバルト）、Cu20-W（銅-タングステン）、SUS（ステンレス）などのさまざまな材質の金属にもめっき加工しています。共に**めっき**を施すことによりファイバーとの接続時に行う後工程でのロウ付け加工が容易になり、かつ信頼性のあるシステムになります。

< 光ファイバ通信の基本構成 例 >



最新トピックス

めっき色サンプルをご提供します

当社ではさまざまな色調のめっき、あるいは機能を付加しためっきを取り扱っております。この度当社で扱っているめっきの色サンプル(15色)を当社オリジナル引き手(洋服などのファスナーの引き手部分)として作成いたしました。既にご要望を頂きましたお取引様にはお配りさせていただいておりますが、「打ち合わせ時に具体的な色見本があると話がスムーズに進む」、「いろいろとめっきの提案をするのにイメージが付き営業活動がやりやすい」等のうれしいお言葉を頂いております。御社の営業活動のツールとして是非ご活用ください。なお、ご希望の方は下記当社営業担当までお申し込みください。

めっき工場からのひとり言

最近、いろいろな複雑形状へのめっきのご要望がとて増えてきております。その為、めっき工場側としてはお客様との打ち合わせをよく行い、ラックする場所(製品のどの部分を治具の爪で押さえるか)や有効面を事前に確認しております。一方では形状的に掛けづらくなったり、場合によっては専用の治具を作成したりと、めっきのコストが上がってしまう事も多く、そんな時「もし、プレスや鋳造の設計段階からご相談いただければ、もっと安くお見積もりできるのに」と思うことが本当に多いのです。当社としましても、かなりの数の汎用治具を用意しておりますが、それを上回るほどの複雑な、治具に掛けにくい製品が多いのが実情です。

私たちはいつでもお客様にとって喜んでいただける品質、コスト、納期を実現したく日々努力しております。是非、今後お引き合いをいただける際には出来るだけ早い段階(設計時)でご相談いただけますようお願い申し上げます。

専務取締役、石川英孝からのひとり言でした。

【連絡先】

株式会社 ヒキフネ

東京都葛飾区東四つ木2-4-12

第一工場営業部：目良・笹島

TEL：03-3696-1981

FAX：03-3696-4511

F P 部：国井・上田

TEL：同上

FAX：03-3696-1973

技術部：井坂・萩原

TEL：同上

FAX：03-3692-9178

ヒキフネ技研：宇田川・中山

TEL：03-3695-5787

FAX：03-3692-6152

HPアドレス：<http://www.hikifune.com>